

患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)

この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

尚、研究又は他の研究機関への患者さんのデータ提供は、研究実施許可日から研究終了日の期間に行います。

記

研究機関名	市立豊中病院
研究実施許可日	2026年 6月19日
研究終了日	2030年12月31日 まで
研究の名称	化学療法時HBVスクリーニングとHBVDNAモニタリングの実態と課題の検討
研究対象	2015年1月から2025年5月までのあいだに当院にて点滴による化学療法をうけられた患者さん全員を対象としています。
対象材料	診療記録
対象期間	2015年1月から2025年5月まで
研究の目的意義	がん治療を行う際に体内に潜んでいるB型肝炎ウイルスが再び活性化し、肝機能障害を引き起こすことが問題となっています。これを防ぐためには治療前からウイルスを検査し、必要に応じて定期的にチェックすることが重要です。本研究では当院でのこれまでの検査実施状況やウイルス再活性化の発生状況を詳しく調査します。今後当院で治療を受ける患者さんがより安全にかつ安心して治療を継続できるようなチェック体制を作ることを目的としています。
方法	この研究は後ろ向き観察という手法で行います。あらたに検査や治療を行うことはなく診療記録から以下の情報を調査します。 ・化学療法開始前のB型肝炎関連の検査結果 ・治療期間中の血液検査データや活性化の有無 ・年齢や性別などの基本情報
個人情報の取り扱い	個人情報は院内で取り扱いますが、匿名化等により外部には出しません。
問い合わせ先 (研究責任者)	市立豊中病院 消化器内科 松本 健吾 TEL:06-6843-0101